

## 日フィリピン物流政策対話 議事概要

### 〈両国の物流施策について〉

- 日本から、本年 6 月に閣議決定した総合物流施策大綱の概要を紹介し、物流を取り巻く環境変化や対策等を説明した。また、新型コロナウイルスの物流への影響等を紹介した。
- フィリピンから、コストの低減や効率化等による物流の改善に向け、2018 年に官民連携により策定された 10 の優先事項及びそれぞれの進捗状況等についての説明があった。

### 〈フィリピンにおける物流課題について〉

#### (1) 外資規制について

- ・ 日本から、物流関係業種に関係する外資規制の現状について説明し、現在フィリピンの国会で審議中の外資規制を緩和する「公共サービス法」改正案の進捗状況や今後の規制緩和の見通し等について質問した。
- ・ フィリピンから、当法案は優先審議法案の一つであり、今国会が閉会する来年 6 月までには改正の是非が決まる見込みである旨の説明があった。

#### (2) 輸入における税関審査の遅延について

- ・ 日本から、輸入申告の書類審査について、コロナ渦による在宅勤務に伴い審査効率が低下していることや、申告件数の増加に伴いシステムダウンが発生していることについて説明し、改善に向けた取組について質問した。
- ・ フィリピンから、港湾システムの更新や通関プロセスの改善等、税関審査の迅速化に向けた取組を進めている旨説明があった。

#### (3) フィリピンにおける交通渋滞について

- ・ 日本から、マニラ港周辺等の交通渋滞の状況を説明し、改善に向けたインフラ整備計画等について質問した。
- ・ フィリピンから、周辺道路混雑緩和のため、マニラ北港とマニラ南港を結ぶ橋を建設する計画があるとの回答があった。

### 〈コールドチェーン物流について〉

- 日本から、コールドチェーン物流サービスの標準化の意義、関連規格の概要、及び認証体制の整備に向けた取組等について説明するとともに、日本主導で設立した ISO/TC315（コールドチェーンに関する技術委員会）における議論への参加を要請した。フィリピンからは、標準化担当部局へ情報共有し、ISO/TC315 への参加を検討する旨コメントがあった。
- フィリピンから、同国のコールドチェーン物流に関する取組として、現在、2020 年 12 月に策定した「コールドチェーンロードマップ」に基づいて、関係省庁が連携して、コールドチェーンの改善に向けた取組を進めている旨説明があった。